

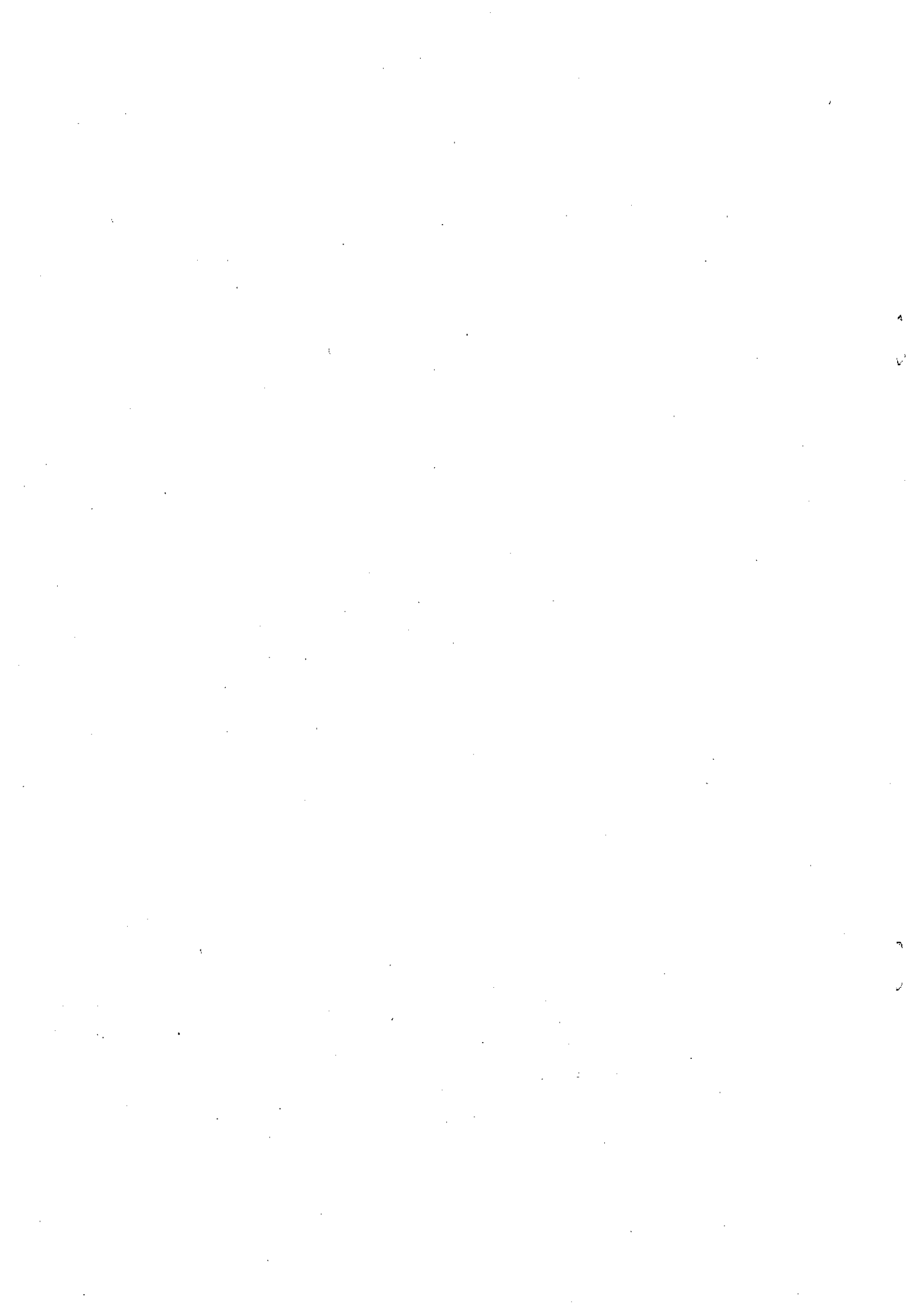
総務教育常任委員会資料

(平成28年1月21日)

〔 件 名 〕

- ・ふるさと納税による寄附受入状況等について 【財源確保推進課】・・・1
- ・とっとり・おかやま新橋館の運営状況について (H27年10月～12月)
【東京本部】・・・3
- ・平成27年度第2回展示商談会の開催について 【関西本部】・・・5
- ・株式会社アシックスの新工場棟建設及び改築に係る調印式の実施について
【関西本部】・・・6
- ・名古屋における情報発信等について 【名古屋代表部】・・・8

総 務 部



ふるさと納税による寄附受入状況等について

平成28年1月21日
財源確保推進課

1 ふるさと納税による寄附受入状況

平成27年1月から12月末までの、県と市町村を合わせた県全体のふるさと納税寄附受入額は34億4,297万円であり、前年比1.6倍となりました。

県単独の寄附受入額は3億6,395万円（前年比1.8倍）となっています。

なお、平成27年4月～12月末までの年度集計では、県全体で32億6,031万円（前年同期比1.7倍）となっており、県単独の受入額：3億4,598万円は前年同期比2.3倍となっています。

		県		市町村計		鳥取県全体計	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
暦年	平成26年1月～12月	10,298件	20,598万円	142,185件	194,967万円	152,483件	215,565万円
	平成27年1月～12月	14,528件	36,395万円	185,981件	307,902万円	200,509件	344,297万円
	前年比	1.4倍	1.8倍	1.3倍	1.6倍	1.3倍	1.6倍
年度	平成26年度4月～3月	6,779件	17,051万円	144,377件	199,163万円	151,156件	216,213万円
	平成27年度4月～12月	13,785件	34,598万円	174,034件	291,433万円	187,819件	326,031万円
	前年同期比	2.3倍	2.3倍	1.4倍	1.7倍	1.4倍	1.7倍

■受入額の多い県内市町村の状況（平成27年1月～12月 暦年ベース）

- 第1位：米子市（46,560件/73,677万円） 第2位：倉吉市（28,270件/59,706万円）
 第3位：鳥取市（18,756件/35,577万円） 第4位：境港市（25,373件/29,932万円）
 第5位：北栄町（18,252件/23,687万円）

■寄附が拡大した背景

- 平成27年度制度拡充により、寄附者の利便性が向上したこと。

※平成27年度制度拡充の概要

- 自治体への寄附に対する税の軽減を受けられる金額の上限を約2倍に引き上げ
- 希望者については寄附をした自治体へ申請を行うことにより個人住民税から一括して控除し、確定申告をしなくても税の軽減が受けられる「ふるさと納税ワンストップ特例制度」を創設（ただし、6以上の自治体に寄附を行った場合は対象外）

- マスメディア等を通じて、制度の普及定着が進んだこと。
- 各市町村において返礼品の充実や手続きの利便性向上等の工夫がなされ、また県においては民間サイトにおける寄附受付を開始したこと。

■寄附促進に向けた取組

- 農産品、工芸品等の多様な県産品や、宿泊施設利用券、観光・レジャー体験券等の来県型のお礼の品の提供等により、鳥取県の様々な魅力を広く発信。
- 鳥取銀行によるふるさと納税と連携した定期預金の発売や、稲田屋本店によるアンテナショップでの寄附受付等、民間企業や関係機関との連携を推進。
- 他課と連携した県外イベントへの参加等、様々な機会を通じたPRの推進。

■その他

事業構想大学院大学主催の「ふるさと納税・地方創生研究会」の有識者委員に平井知事が就任

- 趣 旨 地方創生に資するふるさと納税のあり方を検討し、地域において有効に活用していくためのロールモデルを創出する。
- 委員構成 計5名（事業構想大学院大学副学長、鳥取県知事、長野県飯田市長ほか学識経験者2名）
- 開催計画 全7回（平成28年1月～7月まで 月1回開催）

2 平成 28 年度鳥取県ふるさと納税パートナー企業の募集

ふるさと納税の寄附促進と県内産品の振興を目的として、平成 28 年度の寄附者にお贈りするお礼の品を提供していただく「鳥取県ふるさと納税パートナー企業」を以下のとおり募集します。

■提供していただくお礼の品

お礼の品は、県内に事業所がある法人その他の団体及び個人により、県内で製造されている商品、栽培等されている農林水産物及び県内施設でのサービス等で、本県の魅力を体験できるものとする。

＜パートナー企業数及びお礼の品数の推移（各年度 4 月 1 日現在）＞

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
企業数	31社	47社	51社	80社	138社
お礼の品数	36品目	55品目	61品目	145品目	287品目

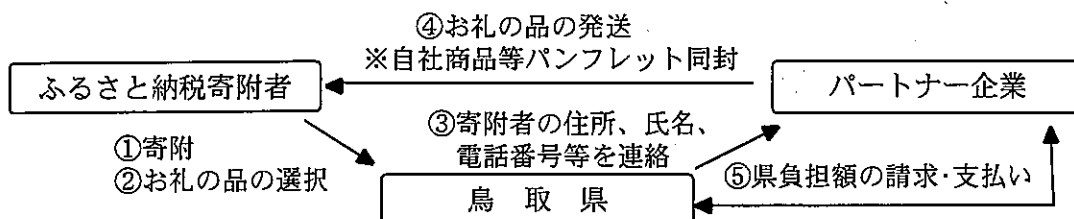
■お礼の品の募集区分等

お礼の品の募集区分	県負担額	贈呈の対象寄附金額	平成27年度の例
4,000円相当の品（税・送料込）	3,000円	1万円以上2万円未満	県産米（コシヒカリ・きぬむすめ）、梨、ハム・ウィンナー、鳥取和牛オレイン55、紅ズワイガニ、松葉ガニ、地ビール、アンテナショップ利用券、県内宿泊施設利用券、レジャー体験券など
7,000円相当の品（税・送料込）	5,000円	2万円以上3万円未満	
11,000円相当の品（税・送料込）	8,000円	3万円以上4万円未満	
14,000円相当の品（税・送料込）	10,000円	4万円以上6万円未満	
21,000円相当の品（税・送料込）	15,000円	6万円以上10万円未満	
28,000円相当を目安 （広く販売されていないプレミアムな品など）	原則実費	10万円以上 （50万円以上は2品）	特大松葉ガニ、鳥取和牛の稀少部位 5 種盛など
障がい福祉事業所の生産品については別途募集（県全額負担） 平成27年度の例：2,000円～5,000円相当の品（うどん・そば詰め合わせ、おからかりんとうセットなど）			

■パートナー企業のメリット

- ・県ホームページや県のふるさと納税パンフレットを通じて、またマスコミ等の取材により、広く全国にPRができる
- ・お礼の品発送時に自社商品等パンフレットを同封することにより、自社商品のPRが図れる。

■事業の流れ



■募集期間

平成 28 年 1 月 25 日（月）から 2 月 29 日（月）まで（ただし、期限後も随時募集する）

とっとり・おかやま新橋館の運営状況について (H27年10月～12月)

平成28年1月21日
東京本部
販路拡大・輸出促進課

鳥取県と岡山県の共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」の平成27年10月から12月までの運営状況について報告します。

- 1 入館者数 133,086名(対前年比84%)
※開店からの延べ入館者数642,602名

2 売上金額

	売上金額(対前年比)	客単価(対前年比)
ショップ(物販)	72,179千円(96%)	1,666円(105%)
レストラン(飲食)	26,468千円(103%)	1,848円(115%)
計	98,647千円(97%)	—

3 取扱品目数 ※H27.11月末現在

鳥取県:959品目(生鮮品101品目、加工食品688品目、非食品170品目)

岡山県:851品目(生鮮品52品目、加工食品712品目、非食品87品目)

4 催事スペース等の利用日数 及び主なイベント

(1) 利用日数(開館日数91日)

	利用日数(対前年比)	うち鳥取県関連(対前年比)
プロモーションゾーン(1F)	66日(97%)	37日(84%)
催事スペース(2F)	74日(134%)	32日(160%)

(2) 主なイベント

- ・とっとり・おかやま物産展(H27.10.17～18)
両県の商工会連合会が主催し、13事業者(鳥取県9事業者)が参加。多くの来場者があり、普段アンテナショップで販売していない商品を購入していた。(本物産展を契機に、(株)ヤスオカの宝喜の水がアンテナショップで定番商品化)
- ・特選とっとり松葉がに五輝星の祝全国最高値記念セレモニー(H27.11.12)
平井知事、タレントの木佐彩子さん、U字工事さんにより五輝星の全国最高値をPR。テレビ、新聞、webなど50媒体で広く紹介された。
- ・移住休日相談会(H27.11.14、12.12)、企業紹介フェアin東京(H27.12.23)
鳥取県への移住や就職、転職に関する相談会を開催し、多くの来場者があり、情報収集のよい機会になっていると好評。

5 観光・移住コーナーにおける相談実績

	相談件数(対前年比)	うち鳥取県関連(対前年比)
観光・移住相談件数	229件(89%)	127件(91%)

※利用者の声

- ・知りたい情報などがすぐ確認できるので、旅行プランが立てやすい。
- ・旅行の目的に応じて欲しい情報を丁寧に教えてもらえる。(旅行に行かれた後日、お礼に来館されるお客様もおられる等、相談員配置は、両県への来県、イメージアップにつながっている。)

6 ビジネスセンターの長期利用契約件数

13社14ブース利用(うち鳥取県5社6ブース)

7 プレミアム付き商品券の利用実績 販売冊数 8,636 冊(速報値)

プレミアム付き商品券の発行により、スイカ等の青果品やカニ、ピモロシユーズ等の高額商品の購入が増加した。また、プレミアム付き商品券の販売を記念したレストランの特別メニューの販売も好調であった。

8 チャレンジ商品(県産品のテスト販売)

8社24品目がチャレンジ商品として出展

(アンケート数110件、アンテナショップ定番化につながった商品12点(ネギマンラーメン(株)DARAZ)、さつまいもチップス(JA鳥取中央農協女性会のグループ)、しぼり大根(大山高原漬物)ほか)

9 マスコミへの露出

テレビ 7件、ラジオ 6件、新聞 20件、雑誌等 1件

(具体例)TBS テレビ「マツコの知らない世界」で、(株)MY HONEYの「ナッツの蜂蜜漬」、米吾の「吾左衛門鮓 鯖」が紹介され、視聴した消費者からの問い合わせが殺到。売れ行きも好調。

10 1月以降のイベント

・もちつきイベント(1/5,6,9)

集客につながるとともに、普段動かなかった商品が購入されるなど売上にもつながった。

・銀座エリアの飲食店のシェフを対象とした鳥取カニセミナー(1/28)

・鳥取&岡山の食材を使った恵方巻き料理教室(1/31)

・中国四国アンテナショップ連携イベント「ご当地珍味グランプリ」(1/20~2/2)

・鳥取・岡山広域観光協議会による鳥取県・岡山県合同の食と観光のPR(1/30)

・豪華賞品が当たる抽選キャンペーン(2/13~3/31)

1日500円以上お買上げでスタンプ1個、3個貯まると空くじなしの抽選キャンペーン

・日野町の特産品フェア(2/13~14)

・移住休日相談会(2/20、3/12)

平成27年度第2回展示商談会の開催について

平成28年1月21日
関西本部

関西本部では、関西圏での販路開拓を目指す県内事業者の販路開拓および定番化を目的とした、今年度第2回展示商談会を以下のとおり開催します。

1 開催内容

- (1) 日 時 2月24日(水) 午前11時から午後5時まで
 (2) 場 所 鳥取県関西本部 交流室
 (3) 募集事業者 関西で販路開拓を目指す県内事業者(ただし、関西に営業部門を持たない者) 22社
 ※初参加の事業者を最優先
 (4) テーマ 「新規商品、開発・改良中の商品の提案」
 (5) 主催 鳥取県関西本部
 (6) 主な改善点

第1回展示商談会での関西バイヤーの主な意見	改善点
・販売先のターゲットをある程度絞った商談会でなければ、そのうちただの顔合わせの会合になってしまうかもしれない。	・県内事業者に対し、希望販売先を明確に示すことを周知した。
・県内事業者に対して、販売先のターゲットを決めて商品開発する順序を教えるべき。	・バイヤーの意見を踏まえた商品開発に繋がるよう、開発・改良段階の商品も対象とした。
・商材としては興味があるが、ロット等の問題が大きい。	・県内業者に対して、商品提案書にロット数を明記するよう周知した。

- (7) スケジュール 1月20日：出展事業者募集締め切り
 1月下旬：事業者決定
 2月上旬：関西バイヤー等への招待状送付

【参考】平成27年度 関西における県内事業者の販路開拓支援状況

1 営業実践研修

- (1) 目的 関西圏での販路開拓を目指す県内事業者の営業力向上
 (2) 日 時 5月25日(月)
 (3) 出展事業者 商品提案書の作成が苦手な方、または営業経験が少ない方(30名)
 (4) 内 容 講義(関西での営業のポイント、商品提案書の書き方)、模擬営業

2 商品クリニック

	第2回目	第1回目
目的	関西圏での販路開拓を目指す県内事業者の商品力向上	同左
日時	11月27日(金)	6月19日(金)
参加者	県内事業者 13社17名	県内事業者 19社25名
対象品	新規開発中又は改良意向のある加工食品等	同左
内容	講演(食品表示法施行に伴う留意点)	講演(機能性表示食品制度の活用例)
	分野別(商品卸、百貨店・スーパー、外食産業、商品開発)の関西バイヤー等による個別クリニック	同左

3 第1回展示商談会

- (1) 日 時 7月30日(木) 午前11時から午後5時30分まで
 (2) 場 所 鳥取県関西本部 交流室
 (3) 出展事業者 関西で販路開拓を目指す県内事業者(ただし、関西に営業部門を持たない者) 20社(うち初参加:6社)
 (4) テーマ 「平成27年秋・冬に向けた商品提案」
 (5) 来場バイヤー 78社、123名(食品問屋、通販、百貨店・スーパー、飲食店など)
 (6) 商談成立 新規取引 14件、既存取引の拡大 8件

株式会社アシックスの新工場棟建設及び改築に係る調印式の実施について

平成28年1月21日
立地戦略課
関西本部

株式会社アシックス（本社：兵庫県神戸市）が、山陰アシックス工業株式会社（本社：境港市）において、商品の増産等及び株式会社アシックスの研究開発の本社機能の一部を移転するための新工場棟建設及び改築を行うこととなり、これを支援する鳥取県・境港市3者による協定書の調印式を行いました。

1 企業概要

＜株式会社アシックス＞

- ◇企業名 株式会社アシックス
- ◇代表者 代表取締役社長CEO 尾山 基（おやま もとい）
- ◇所在地 兵庫県神戸市中央区港島中町7丁目1番1
- ◇設立 1949年9月1日
- ◇業種 スポーツ用品の製造販売
- ◇資本金 23,972百万円
- ◇売上 425,000百万円（2015年12月予測）
- ◇事業所 山陰アシックス工業(株)（鳥取県）、アシックスアパレル工業(株)（福井県）など
- ◇今後の見通し 2011年から5年間、年平均12.5%の売上げ増の成長により2015年には4,250億円の売上げ見通し。また、2020年の東京オリンピックのゴールドパートナー契約を結び、さらなる売上げ増が期待される。

＜山陰アシックス工業株式会社＞

- ◇企業名 山陰アシックス工業株式会社
 - ◇代表者 代表取締役社長 横石 廣美（よこいし ひろみ）
 - ◇所在地 境港市渡町2900番地
 - ◇設立 1980年10月
 - ◇業種 スポーツシューズ製造
 - ◇資本金 9,000万円 ※(株)アシックスの100%出資
 - ◇売上 3,289百万円
- * 境港市の企業誘致第一号企業、アシックスの国内唯一のシューズ生産子会社

2 立地計画概要

(1) 増設場所	境港市渡町2900番地
(2) 事業内容	既存工場の耐震力も考慮し現工場を建て替えるとともに、2020年東京オリンピックに向けて生産量アップするため新工場の建設を行う。新工場はアシックスグループ唯一の国内自社工場として「日本製」の高付加価値商品を生産する拠点工場として位置づけ、新しい素材の研究開発など本社機能の一部移転を行う。
(3) 雇用計画	15名（予定、全て正規雇用者）
(4) 投資規模	現在精査中
(5) 操業開始	平成29年4月

3 企業立地支援の見込み

鳥取県 企業立地事業補助金	境港市 企業立地促進補助金
45%の補助 (金額は投資規模により変動)	5%の補助 (金額は投資規模により変動)
【内訳】[生産]特定製造業(30%) + 戦略分野加算(5%) + 本社機能移転(10%) [研究開発]研究開発(30%) + 戦略分野加算(5%) + 本社機能移転(10%)	

(※その他：正規雇用奨励金による支援予定)

4 調印式

- (1) 日時 平成28年1月18日(月)
午後1時15分から午後2時まで
- (2) 場所 知事公邸 第一応接室
- (3) 出席者 株式会社アシックス 代表取締役社長CEO 尾山 基
境港市 市長 中村 勝治
鳥取県 知事 平井 伸治



協 定 書

株式会社アシックス（以下「甲」という。）、鳥取県（以下「乙」という。）及び境港市（以下「丙」という。）は、甲の工場等の新工場棟建設並びに改築（以下「新工場建設事業」という。）について次のとおり協定する。

第1条 甲は、別紙1のとおり新工場建設事業を行うものとする。

第2条 乙及び丙は、前条に定める新工場建設事業が支障なく円滑に行われるよう、誠意をもって協力するものとする。

第3条 甲は、新工場建設事業にあたり、法令等の規定を遵守し、特に工場の設置、運営等に当たっては、公害の発生防止と周辺環境の保全に努めるものとする。

第4条 甲は、従業員の採用に当たっては、境港市在住者を中心として、鳥取県内在住者及び鳥取県内へのU I Jターナー者の積極的な採用に努めるものとする。

2 乙及び丙は、甲の人材確保に当たっては、誠意をもって協力するものとする。

第5条 甲は、事業に当たっては、鳥取県内企業への受発注に努めるものとし、また、操業開始後においても、鳥取県内企業との積極的な取引に努めるものとする。

第6条 甲が別紙1のとおり行う新工場建設事業に対し、乙及び丙は、別紙2に定める支援を行うものとする。

第7条 甲、乙及び丙は、この協定に定める事業を実施する上で知り得た他の当事者の営業、人事、技術その他の業務上の機密（以下「機密情報」という。）を保持するものとし、第三者に開示し、又は漏えいしてはならない。ただし、機密情報を開示しようとする者があらかじめ書面により当該機密情報を保有する他の当事者の同意を得た場合は、この限りでない。

第8条 この協定に定める事項について疑義が生じたとき、及びこの協定に定めのない事項については、甲、乙及び丙が協議して定めるものとする。

上記のとおり協定した証として、本書3通を作成し、甲、乙及び丙がそれぞれ署名押印の上、各自その1通を保有し、信義を重んじ誠実にこの協定を履行するものとする。

平成28年1月18日

甲 神戸市中央区港島中町7丁目1番1 株式会社アシックス 代表取締役社長CEO 尾山 基

乙 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地 鳥取県 鳥取県知事 平井 伸治

丙 鳥取県境港市上道町3000 境港市 境港市長 中村 勝治

（別紙1）

新工場建設事業計画概要

- 1 事業所の名称 山陰アシックス工業株式会社
- 2 所在地 鳥取県境港市渡町2900番地
- 3 操業開始 平成29年4月
- 4 事業内容 生産効率向上及び研究開発機能充実のための建設並びに改築事業
- 5 雇用計画 15名

（別紙2）

1 鳥取県の支援

- ・鳥取県企業立地等事業助成条例（平成25年鳥取県条例第8号）に基づく支援
- ・働くぞ！頑張る企業を応援する鳥取県正規雇用創出奨励金支給要領（平成23年4月1日制定）に基づく支援

2 境港市の支援

- ・境港市企業立地の促進及び雇用の拡大に関する条例（平成20年境港市条例第34号）に基づく支援

名古屋における情報発信等について

平成28年 1月21日
名古屋代表部

1 「とっとりビジネスフォーラム in名古屋」の開催について

中京圏の企業に対し、鳥取県及び鳥取県の推進する施策や企業立地環境をPRし、鳥取県内への企業進出及び県内企業等との連携を促進するために、3回目となる「とっとりビジネスフォーラム in名古屋」を開催します。

・日程等 2月8日(月) 15:00~18:00 キャッスルプラザ(名古屋市中村区)

・プログラム(予定)

プレゼンテーション	「山陰鳥取とともに日本の元気を」鳥取県知事 平井伸治
基調講演	鳥取県への進出企業3社による講演 (株)イナテック、今井航空機器工業(株)、マルサンアイ(株)
交流会	参加企業等との交流会

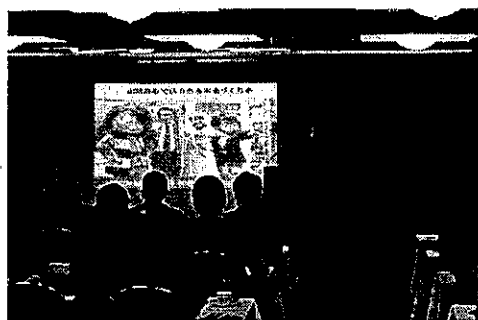
・出席予定者 約120名

・中京圏企業 約100名(鳥取県が接触している企業、鳥取県に進出している企業等)

・鳥取県内関係団体 約20名(市町村、産業関係団体、大学等教育機関)

[昨年度の様子]

平井知事から、鳥取県の「名古屋からの近さ」、「災害リスクの低さ」、「進出企業に対する助成制度」などを直接PRでき、参加された方から「鳥取県に対する理解が深まった」との声が多くありました。このセミナーが、新たな企業訪問や誘致活動につながっています。



知事プレゼンテーション



基調講演：パソナ田村執行役員様

2 鳥取県観光PRの取り組みについて

東海圏からの今春以降の観光客誘客に向け、集客の高い施設で鳥取県の旅の魅力をPRを行います。

(1) マークイズ静岡での観光PR

① 日程：2月28日(日)

② 場所：マークイズ静岡(静岡市葵区) イベント広場

③ 主催：鳥取県(名古屋代表部)、(公社)鳥取県観光連盟

④ 内容：砂絵づくり体験、缶バッチ制作、観光パンフ配布 など

(2) 刈谷ハイウェイオアシスでの観光PR

入場者数全国3位の遊園地としても紹介され、行楽客や地元の方々など多くの利用者で賑わう刈谷ハイウェイオアシスで、鳥取県の旅の魅力などをPRします。

※昨年10月に続き2回目の実施

① 日程：3月5日(土)、6日(日)

② 場所：伊勢湾岸自動車道 刈谷ハイウェイオアシス(愛知県刈谷市) 広場

③ 主催：鳥取県(名古屋代表部)、(公社)鳥取県観光連盟

④ 内容：砂絵づくり体験、缶バッチ制作、観光パンフ配布 など